

甲賀市 胃がん検診（胃内視鏡検査）に関する注意事項

胃がん検診（胃内視鏡検査）について

- ・胃内視鏡検査は、口または鼻から内視鏡（胃カメラ）を挿入します。
- ・食道や胃の全体および十二指腸の一部を医師が直接観察します。
- ・胃の中の小さな病変を見つけやすい検査です。
- ・通常検査は、約10～15分で終了します。

鎮痛薬・鎮静薬について

- ・鎮痛薬（痛みを抑える医療用麻酔薬）、鎮静薬（意識を低下させる薬）は使用しません。

※理由・・・市の検診は受診者の安全を最優先します。

偶発症（重症のアレルギー症状等）を起こす可能性がある薬は使用しません。

内視鏡検査はのどや鼻に部分的な表面麻酔（キシロカインなど）や場合によっては、胃の動きを止める薬（ブスコパンなど）を使用する可能性があります。

薬のアレルギーや体調に異常がある方は検査前に必ず申し出てください。

検診結果の通知について

- ・結果通知は約1か月後です。（二人の医師がダブルチェックを行います。当日の検査医の判断と総合判定が異なる場合があります）
- ・精密検査が必要なとき連絡がつく電話番号を検診票に書いてください。
- ・がんでなくても再検査が必要になる場合があります。
- ・組織を調べる検査（生検）を受けた場合は、必要に応じ医療機関から説明があります。

自己都合による検診の中断について

- ・胃がん検診（胃内視鏡検査）が受診者の自己都合により中断された場合、検診にかかる費用を医療機関にお支払いいただきます。

検診間隔について

- ・次回、市の胃がん検診は2年後に受診できます。（バリウム検査・内視鏡検査とも）
- ・今回の検診で100%がんが見つかるわけではありません。何らかの自覚症状のある場合は、次回の検診を待たず医療機関にご相談ください。

個人情報の取り扱いについて

- ・市は検診の精度管理などの目的のために、受診者の検診結果や精密検査の結果を把握します。また、個人が特定できないようにしたデータを必要に応じて県等に報告し、検討します。個人情報が漏れることはありません。